



第3号

ゆかり

縁通信



NPO法人 ゆかり相続サポート・上越

☎ 025-512-9618

『家族という全体』

理事 田邊 亮

暑さが去ったと同時に、本格的な寒さが到来しつつあります。もはや日本に四季は存在しないと思っていましたが、本格的に「二季」の国になってしまったようです。エアコンは年中フル稼働で、いつか過剰労働のツケを人間が払わされるのではと戦々恐々としつつ、今日も暖房の世話になっています。

さて、最近読んだ本の中にミクロとマクロに関する話がありました。ミクロは個別の小さな視点、マクロは全体の構造を大きな視点で見ることであり、ほとんどの場合、両者には関連性があります。

わたしたちの仕事は大抵がミクロ的なもので、個別の相続や生前対策のケースに沿ってそれぞれやっていくものであり、地域や制度などに影響を与えることはほとんどありません。

ですが、亡くなられた方や依頼者だけでなく、「家族」を全体としてとらえたとき、わたしたちの仕事はマクロの要素も持つのではないかと思います。争続の発生を防ぐ、より相続人同士が納得できるようにする等、わたしたちの仕事は家族という全体に間違いなく影響を与えています。

どんな仕事でも規模の大小はあれ、個と全双方の要素があり、両方の視点を持ちながら仕事に臨みたいものだ、日々の個別の仕事に追われ、将来の設計・計算ができていない中で思うのです。



「負」動産のご相談、増えてます

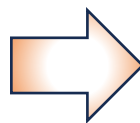
相続の相談で、土地や建物を引き継いだ後、その「処分」について聞かれることが増えています。とくに上越地域では、この「不動産」をどうするかがみなさんのお悩みになってきているようです。

以前は・・・

不動産は「付」動産
(付加価値)

のこせば喜ばれる

貸す(売る)のは簡単



最近では・・・

不動産は「負」動産

のこせば困る

貸す(売る)のは大変

売れない不動産の5つの問題



その1 相続税や固定資産税などの**税金**

その2 維持管理の**手間**と**費用**

その3 地すべり、倒木、火事などによる**他の人への損害**リスク

その4 **詐欺の対象**になりやすい

その5 不動産の押し付け合い **争い**にも

(※プロサーチ資料より)

上の表にあるように、残された不動産はいろいろな問題を抱えています。それぞれのご家庭の事情によって解決方法はイロイロあるのですが、大事な点は以下の点です。

- ・できれば、お父さん、お母さんが**元気なうちに準備する**
- ・(亡くなる前・後問わず) **専門家に相談する**



もちろん、私どももご相談に応じますので、お気軽にご連絡ください。(相談無料です)



今号は「負動産」にかかる特集をしましたが、本当に相談に来られる方が増えてきています。以前から「空き家問題」というのはニュース等でも取りざたされていましたが、山とか農地とか、土地に関するお困りごとも、同じかそれ以上に多いのが実情です。

私たちはたくさんの場所で講座をさせていただいておりますが、この「負動産」にスポットをあてた講座もしております。

ぜひ、不動産の問題が少しでも解決できるよう「ちょっとうちで話してよ」とご依頼いただければと思います。(梨本)

ご相談・お問い合わせは



～家族と地域の「カタチ」を守る～

NPO法人 **ゆかり相続サポート・上越**

〒942-0063 上越市下門前1705番地
(オフィスケイコム2階)

☎ **025-512-9618**

メール: info@yukari-s.jp



※ ゆかり通信の送付を希望されない方は上記の電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。